

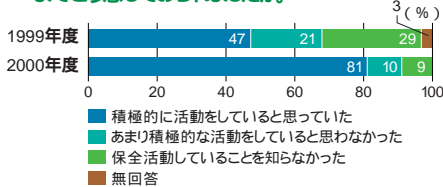
2000年度 環境報告書のアンケート結果

リコーグループでは、よりよい環境報告書を制作し、また環境保全活動の改善につなげていくために、1998年版から日本国内ではアンケート用紙を挟み込み、多くの方々からご意見をいただけてきました。

2000年版に対して、2001年3月現在、23,000部の発行実績に対して106件のアンケート回答をいただきました。

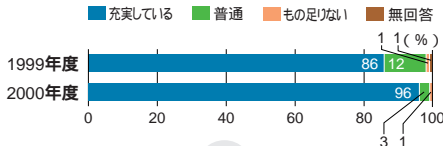
アンケート結果

リコーグループの環境保全活動について、これまでどう感じておられましたか。



この報告書をお読みになって、どう感じになりましたか。

a) 報告書の記載内容



ご意見

やや字が小さく読みにくかった。

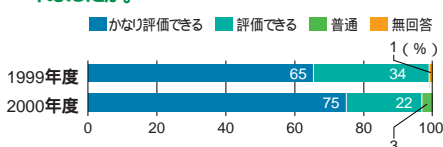
環境経営を積極的に推進し、各種の行動がされている所はとても良いが、ISO14001をはるかに超える目標で活動してほしい。

社内、社外それぞれに対する環境負荷への取り組みが冷静にまとめられている。

他社では出来ない情報開示である。調査のために他社の報告書なども取り寄せたが、質、量、ともに上位であった。

活動結果の総括があると良いと思います。前年度と比較してどうか、今年の反省と課題など。文章、コラムなど変化があり、どれも流れが理解できました。

b) リコーグループの活動内容についてどう評価されましたか。



ご意見

挨拶文にも裏紙を使用しているのは、たいへん素晴らしい。

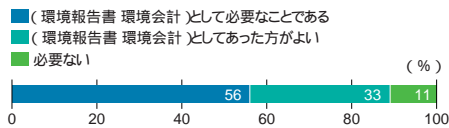
リコーグループとして見ると、解りにくい面があります。

環境ボランティアリーダーの養成もしており（環境保全活動が）社員一人ひとりが社会全体へ広がっていることが良くわかる。

もう少し対外的な認知を高めるために、一般主婦や低学年層への啓蒙に力を入れてみてはどうか。

関連会社まで活動が浸透していると感じて感心した。

c) 今回の報告書は第三者審査を受審しました。これについてどう思われますか。



ご意見

環境会計は確定した基準がないので、受審しても意義を感じない。

情報の透明性、公平性のためには必要。

客観的な評価基準は難しいですが、少しでも客観性を持たせる点からも立派だと思ふ。明確な基準がないだけに、第三者の評価があった方が信頼性が高いと言えると思う。

d) この報告書で興味を持たれたページがごさいますか。

- 1位 環境会計
- 2位 環境社会貢献
- 3位 グリーンパートナーシップ
- 3位 汚染予防(事業所)
- 5位 エコバランスによる環境負荷分析
- 5位 省資源・リサイクル(製品)
- 5位 省資源・リサイクル(事業所)

e) コラム風ページ(p22, 34, 42, 46, 50)についてどう思われますか。

とても良いし、読みやすい。実際の改善内容なので納得できる。

堅い説明ばかりでなく生の声、実際の社会が感じられて良い。

第一線の「現場の声」が記載されており、親近感を持つとともに、ほっとする欄が良い。

堅い感じに偏りがちな報告書に、このようなコラム欄で具体的な活動の紹介、キーワードの解説、社内外の事例の紹介をされているという事は大変結構。

必要ない。

息抜きの色々紹介されており、工夫されていると感じた。

報告書や活動についてのご意見・ご感想などがございましたらお願いします。

字がやや細かすぎるので、次回からはもう少し大きくしていただきたい。

編集される方の後記があっても良いのではと思います。苦勞されている点も紹介して欲しい。

他社が環境報告書を作成する際に参考にすると思われる位、レベルの高い出来映え。これだけのボリュームになると見習おうとする会社も大変な苦勞が必要になってくる。中小企業には負担が大きすぎて参考にならなかった。私にとってはとても充実した報告書に感じられるが、すべての人がこれだけの情報を必要としているとは思えません。簡易的なバージョンがあっても良いのでは。

たいへん読みやすくとまっています。特に現場の改善例が今回から記載され、他社の報告書と差別化されています。

リコーグループの過去の埋立廃棄物に対する対応についてどのように考えているのか書いてあると、もっと良いものになるのではありませんか？

この報告書はどんな人が読むことを想定しておられるのでしょうか？ 一人ひとりのユーザーに詳しく読んでもらうために、パラパラめくって目についてすぐに解るような絵や図などを入れてはいかがでしょうか。

この報告書をどのような立場でお読みになられていますか。

